

「標的型攻撃メール予防訓練サービス」申込／実施における注意事項

(メール予防訓練申込時の注意事項：サービス編)

1. ご利用条件

- (1) 訓練の実施にあたっては以下の点をご確認・ご了承いただいた上、訓練参加者メールアドレスを提出願います。
- (2) 本訓練はユーザ協会会員を対象に実施します。会員登録がされていない方は各支部(0120-20-6660)にご連絡いただき登録の手続きをお済ませください。

2. 訓練の実施について

- (1) いただいたメールアドレスの記入に一部不備がある場合、正常に記入されたメールアドレスのみで訓練を実施させていただきます。
- (2) 「訓練実施予定日」は、訓練実施の概ね1週間前に登録いただいた責任者メールアドレス宛ご案内致します。
- (3) 「訓練実施完了報告メール」を概ね訓練の翌日に責任者メールアドレス宛にお送りします。
- (4) 「教育コンテンツのURL」は訓練の翌々日以降、全訓練参加者宛にメールにてご案内します。
- (5) 訓練の実施結果等は登録いただいたご住所宛に郵送(普通郵便)にてお送りします(持参させていただく場合もあります)。

(メール予防訓練実施時の注意事項：技術編)

1. 長期休暇、出張等でメールを開封していない方は「添付ファイル未開封」にカウントされます。

2. 以下の要件により、メール訓練に関して正確な測定結果が得られない可能性がありますので予めご承知下さい。

①開封ログが記録できない

- ・添付ファイル（Word）開封時、Officeのバージョンや設定等の条件により「保護ビュー」の状態になる場合があります。
- ・その場合は、「編集を有効にする」ボタンをクリックして保護ビューを解除していただかないと、添付ファイルを開封したログが記録できません。
- ・URLフィルタリング等により、ホワイトリストへ登録したURL（ドメイン）以外のアクセスが制限がされている場合は、開封したログが記録できません。

②迷惑メールフォルダに振り分けられる

- ・迷惑メール（スパムメール）対策機能をご利用の場合、お客様の設定条件によって、訓練メールが迷惑メールとして振り分けられる場合があります。
- ・クラウドやISPのメールサービスをご利用の場合、サービス提供事業者側のシステム要件等によって、訓練メールが迷惑メールとして振り分けられる場合があります。

③未開封にも関わらず開封ログが記録される

- ・標的型攻撃対策としてサンドボックス機能（製品）を導入されている場合、サンドボックスによるチェックが行われた段階で、訓練メールの添付ファイル開封、またはURLへのアクセスログが記録される可能性があります。

④その他

- ・上記以外にも、お客様個々のネットワークやシステムの利用環境によって、訓練メールが受信できなかつたり開封ログが記録できない場合があります。

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
標的型攻撃メール予防訓練サービス受付担当

以上